

KITAGAWA MASATAKA

北川正忠

幻の刀剣に挑む

— 兵主大社御神宝復元への道 —

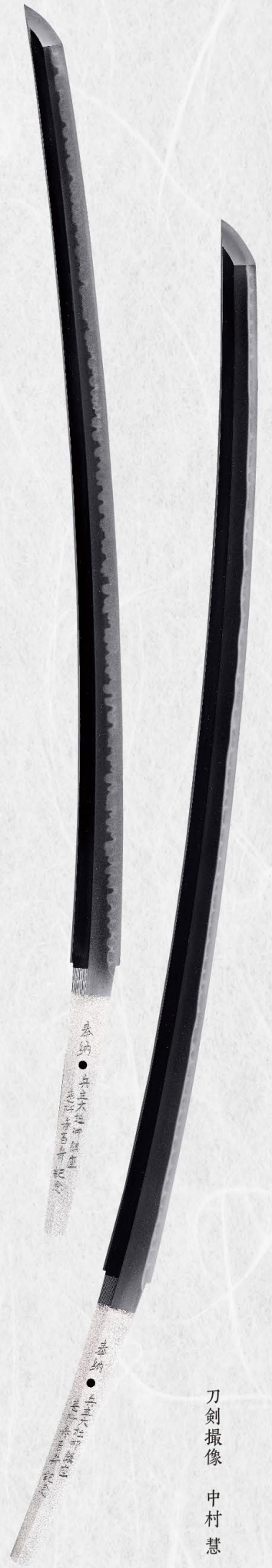
会期中の休館日／毎週月曜日

入館料／大人 300円(250円) 小中学生 150円(100円)

※()内は20名以上の団体料金

共催／兵主大社

令和5年
11月25日(土) ▶ 12月17日(日)



刀剣撮像 中村慧

東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

北川正忠

幻の刀剣に挑む

兵主大社御神宝復元への道

東近江市で刀剣作家として活動する北川正忠氏。平成21年に新作名刀展(日本美術刀剣保存協会主催)にて優秀賞・新人賞を受賞して以降、毎年入賞を重ね、令和元年から3年連続で最高賞の高松宮記念賞を受賞するなど、現代を代表する刀剣作家として活躍しています。その活動は多岐にわたり、近年は彦根城博物館の依頼により、井伊家伝来・備前三郎國宗(二代目)の復元を行っています。

令和3年には、兵主大社(野洲市)の依頼により、御神宝の太刀と小太刀の復元を行いました。

兵主大社は、滋賀県を代表する古社のひとつで、その祭神は八千矛神(大國主命・大己貴命)です。その由来は、養老2年(718)10月上旬に白い蛇の姿をした兵主神が大きな亀にのって琵琶湖を渡り、八崎浦(現在の野洲市吉川)においてにたつたとあります。この伝承にちなみ、毎年12月に神迎えの神事として行われるのが、日本遺産にも登録された「八ヶ崎神事」です。平成30年には遷座1300年を迎え、記念事業の一環として御神宝の刀剣十数本が修復されました。今回出展する二振の刀剣は、クラウドファンディングの支援によって復元されています。

本展では、北川氏が復元した太刀・小太刀を初公開します。さらに、北川氏が制作した刀や刀剣制作に使う道具も出展。また、室町時代に制作された拵や腰刀、平成30年に復元された御神宝の幡の複製など、兵主大社に伝わる資料を合わせて出展します。

北川正忠略歴

- 昭和54年 東近江市(旧八日市市)に生まれる
- 平成14年 宮入法廣刀匠(長野県無形文化財)に師事
- 平成20年 文化庁から「美術刀剣類製作承認」を受ける
- 平成21年 日本美術刀剣保存会主催の新作名刀展にて優秀賞・新人賞を受賞、以後毎年入賞
- 平成22年 現代刀剣作家として独立、東近江市に鍛刀場を開く
- 平成24年 滋賀県から「おうみ若者マイスター」に認定される
- 平成30年 滋賀県文化奨励賞を受賞
- 令和元年 現代刀職展にて最高賞の高松宮記念賞を受賞
以後令和3年まで連続受賞
- 令和4年 現代刀職展にて日本美術刀剣保存協会会長賞を受賞
- 令和5年 現代刀職展にて日本美術刀剣保存協会会長賞を受賞

北川正忠氏と兵主大社宮司による ギャラリートーク

12月3日(日) 11:00から

近江商人博物館 特別展示室
予約不要ですが、入館料が必要です。

プレゼント配布予定 10:00~12:00
(無くなり次第終了)

ギャラリートーク参加者先着60名に復元刀をプリントした特製クリアファイルと御朱印をプレゼント! 兵主大社ゆかりのコスプレイヤー二人が、オンラインゲーム「刀剣乱舞」のキャラクターに扮装してお渡します。



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町583番地 (てんびんの里文化学習センター内)
TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134 URL <https://e-omi-muse.com/omishounin-boy.html>

- 開館時間/午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日/月曜日(祝日の場合は開館)・祝日の翌日・年末年始 臨時休館あり
- 入館料/大人300円(250円) 小中学生150円(100円) ※ () 内は20名以上の団体料金
- 交通機関/・JR琵琶湖線 能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」または「ぶらざ三方よし前」下車徒歩約15分
・近江鉄道 五箇荘駅から徒歩約25分
・名神高速道路 八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、彦根ICから車で約40分

